

宮城県防災会議 第1回東日本大震災検証・記録専門部会 議事要旨

1. 専門部会の概要

日時：平成24年9月4日（火）午前10時～午前11時

場所：宮城県庁行政庁舎 11F 第2会議室

出席者：上仮屋 尚 宮城県総務部長

平川 新 東北大学 災害科学国際研究所 所長（教授）

今村 文彦 東北大学 災害科学国際研究所 副所長（教授）

芳賀 一夫 東日本電信電話（株）宮城支店 設備部長

（代理 砂子澤 健 災害対策室長）

山崎 潤一 東北電力（株）宮城支店副支店長兼電力流通本部長

池口 正晃 東北地方整備局 企画部 企画調整官

岩井 幸一 陸上自衛隊 第22普通科連隊 第3科長

佐々木 三郎 南三陸町 危機管理課長

花海 秀樹 仙台市消防局警防部警防課長

（代理 早坂 和浩 警防課主幹兼警防係長）

2. 議事次第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 部会長，副部会長について

5 議 題

(1) 「大震災検証記録作成普及事業」について (資料1)

(2) 「今後の専門部会スケジュール」について (資料2)

(3) 検証・記録項目について

① 「東日本大震災－宮城県の1年間の災害対応とその検証－」について

(資料3-1) (資料3-2)

② 「宮城県東日本大震災検証記録誌」について (資料4)

(4) 「東日本大震災記録映像」の制作について (資料5)

(5) その他

6 閉 会

《配布資料》

資料1 「大震災検証記録作成普及事業」について

資料2 「宮城県防災会議東日本大震災検証・記録専門部会スケジュール」について

資料3-1 「東日本大震災－宮城県の1年間の災害対応とその検証－」について

資料3-2 「東日本大震災－宮城県の6か月間の災害対応とその検証－」について

資料4 「宮城県東日本大震災検証記録誌」の検証・記録項目について（素案）

資料5「東日本大震災記録映像」の制作について

《参考資料》

参考資料①「宮城県防災会議東日本大震災検証・記録専門部会設置要綱」

参考資料②「過去の災害における記録誌」について

参考資料③「東日本大震災―宮城県の6か月間の災害対応とその検証―」及び「概要版」

3 部会長，副部会長より

○上仮屋部会長より，復興に向けた道のりは未だ道半ばではあるが，県はもとより国，市町村，県民が一丸となり，復興に取り組んでいく旨，発言があった。一方で，今この時期に発災からこれまでの震災への取り組みを振り返り，今後の教訓として後世に継承していくことも大事であり，震災発災以降の困難な状況の中で，人命救助，応急復旧対応にあたられた関係各所の活動を記録，検証し，今後の危機管理体制の強化を図るため，それぞれ専門の立場で貴重なご意見を頂戴する旨，発言があった。

○平川副部会長より，今回の東日本大震災を受け，県としてどのような対応がなされたのかについて，このような委員会をつくり徹底的に洗い出しをして記録を残しておくということは，歴史研究者の一人として大変ありがたいとの言葉があった。この記録集は後世の検証のために作られるということだけではなく，実際に日本列島全体が災害に対する準備として，各地で地震・津波の予測がなされている関係地域から見た場合にも，今回作成される記録集は今後の対策の一つのモデル，指針になっていく，そういう重要な役割を果たしていく旨，発言があった。

4 議事要旨

事務局より議題の（1）から（5）について資料1～5に基づき，東日本大震災の被害の概要，応急復旧対応の記録や教訓を「記録誌」や「記録映像」として後世に残す「大震災検証記録作成普及事業」について説明を行った後，各委員からご意見をいただいた。

各委員からの主な意見は次のとおり。

（1）「大震災検証記録作成普及事業」について

○今村委員より，資料1について，「情報発信」の欄の「周知啓蒙」を，「周知啓発」がより適切ではないか，また「教訓等を後世に残すため」の欄に，事務局説明にあった「防災教育の向上」の追加について，ご意見があった。

→事務局にて修正する。

○平川副部会長より，1年後以降の記録についてどのようになるのかご意見があり，事務局より，復旧・復興の状況は他の県担当部署において別途検討している旨，説明した。平川副部会長より，県の職員の受け止め方の問題として，今は1年間の記録を作っているので2年目以降は調査の対象にならないのだと，あるいは記録保存の対象にならないのだという受け止め方をされないよう周知をお願いする旨，発言があった。

(2) 「今後の専門部会スケジュール」について

○平川副部長より、映像の収集は県の職員が撮影した映像記録なのかご質問があり、事務局より報道各社等の関係機関と連携して幅広く集める旨、説明した。

(3) 検証・記録項目について

○今村委員より、資料3-1の「1年間の検証」では、カラーできちんと保存してホームページ等に掲載していただきたい旨、発言があった。

→事務局にて今後検討する。

○池口委員より、6か月から1年間は県としてどのような反省点があると想定しているかご質問があり、事務局より「6か月間の対応」については県の災害対策本部の各課グループの動きの検証が中心だったが、後半もこの引き続きとなるほか、その他原発対応・瓦礫対応など中心となる旨、説明した。また、「6か月の検証」で課題・検証として挙げられた項目が、その後県の各セクションでどのように改善・見直しに取り組んでいるか調査を行う旨、説明した。

○今村委員より、資料4の記録誌の概要版について英文化し、海外でも見ていただけるよう検討していただきたい旨、発言があった。

→事務局にて今後検討する。

○平川副部長より、資料4のより、項目の変更、追加等の意向が出てくる場合、資料4の項目にはあまりこだわらないで、集まってきた資料が適切に反映されるよう項目立てを行っていただきたい旨、発言があった。

(4) 「東日本大震災記録映像」の製作について

(意見なし)

(5) その他

○今村委員より、資料等に共有について「みちのく震録伝」からの協力申出があった。

(6) 閉会

以上